

いきいきとした町づくりをめざして

議会だより

からうら

No.47

2009.4.29発行

29億400万円の

21年度予算を可決

委員会ハイライト

防災シリーズ・交流活動紹介

2

4

5

全議員が一般質問

6 ▶ 13

スポーツクラブ紹介

14



阿波勝浦八景から 星の岩屋(裏見の滝)



いよいよ着工 沼江バイパス

◎ 一般会計予算の主なもの ◎

- 道の駅整備関連 9,900万円
- 小・中学校耐震、改築設計 4,858万円
- 沼江バイパス関連工事 2,450万円
- プレミアム商品券 500万円
- 乳幼児医療費(12歳まで助成) 1,785万円



沼江バイパス予定地

特別会計予算総額

24億8,382万円

(前年比2%減)

◎ 特別会計予算の内訳 ◎

- 国民健康保険 8億2,863万円
- 老人保健 1,029万円
- 後期高齢者医療 6,610万円
- 介護保険 6億6,532万円
- 勝浦病院 8億500万円
- 簡易水道 7,932万円
- 農業集落排水 2,443万円
- 住宅新築資金 473万円

**3月
定例会**

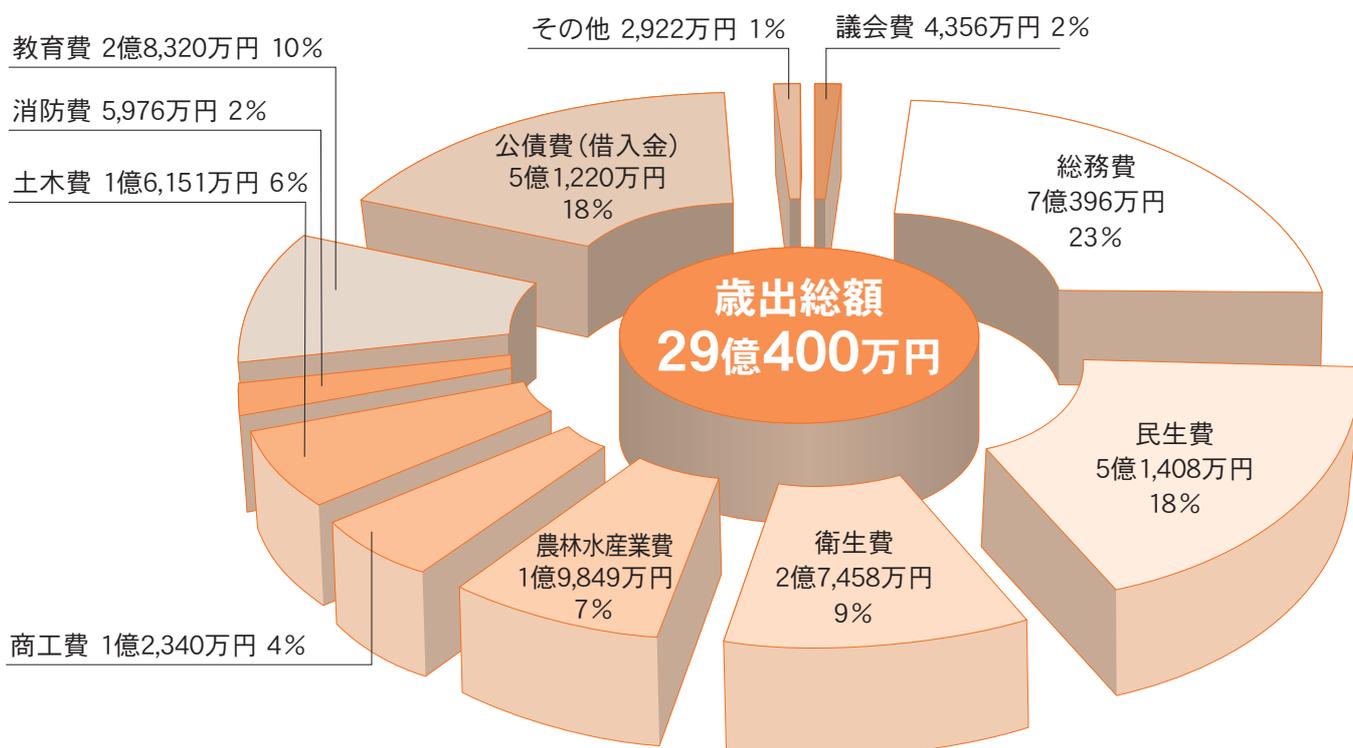
三月定例会は九日から二十四日までの十六日間開かれ、二十年度補正予算や二十一年度予算、条例の一部改正などについて審議し、全員一致で可決しました。一般質問には、全議員が当初予算案などを中心に町の姿勢を問いました。

**二十一年度
一般会計**

二一九億四百万円を可決

**前年比
5.5%増**

一般会計予算(歳出)



議案に対する 主な質疑

町民体育祭の継続は

問 町民体育祭は住民の一体感を高め、まちづくりに役立つ。実施すべきとの多くの意見が出た場合、町長の考えは。

答 区長会や各種団体の意見を聞いたうえで、要望が多ければ実施したい。

問 不況対策として日本政策金融公庫(国金)を利用した場合の利子補給が五十万円計上されているが、申請が枠を超えた場合の対応と継続予定は。

答 枠を超えた場合は補正で対応する。制度の期限は決めている。いない。

問 愛育班の役員選出に高齢化がネックになっている。現状認識と今後の組織の再編は。

答 各地区とも役員選出に問題がある。あると認識しており、男性の加入も一つの方法だと考えている。組織の再編は現在のところ考えていない。

請願陳情

勝浦町畜産団地 利用料見直しについて

◎総務産建常任委員会に付託しました。

副町長の選任に同意

仁木芳宏氏氏(四十九歳)

前徳島県保健福祉政策課長補佐
徳島市大原町



総務産建常任委員会

二月十七日と三月二日に委員会を開き、各担当課から国の第一次及び第二次補正予算と町の二十年度補正予算、二十一年当初予算などについて説明があり審議しました。

太陽光発電式外灯 二十六基を設置

総務税務課長から

国の第二次補正予算と町の関連予算について説明がありました。

問 臨時交付金一億二千六百万円のうち町内業者で対応出来る事業は。

答 太陽光発電式外灯整備事業など約七千四百万円である。

問 定額給付金の実施内容と取り組みは。

答 給付金は九千八百万円、事務費は八百七十万円を計上している。

職員二名と臨時職員二名で対応し、四月末に支給する予定である。



太陽光発電式外灯(久国集会所)

文教厚生常任委員会

二月十七日、三月三日、四日に委員会を開き、各担当課から二十年度補正予算、二十一年度当初予算、条例改正などについて説明があり審議しました。

勝浦中学校を改築

教育委員会事務局長から

公立学校改築事業について「公立学校改築・改修検討委員会答申」の説明がありました。

答申の概要

小・中一貫校教育の導入等町の教育方針と、改築・改修などの方向性が示されている。

問 答申を受けて、町長の考えは。

答 勝浦中学校は現在の場所改築し、横瀬小学校については耐震改修を実施したい。

問 中学校改築のスケジュールは。

答 二十一年五月に耐震二次診断の算定結果が出るので、二十二年三月に国に計画書を提出、二十三年三月に着工と考えている。

新型インフルエンザ 対応は

勝浦病院事務局長から補正予算について説明がありました。

問 「新型インフルエンザ」対応の機器の整備とは。

答 人口呼吸器とスタッフ用防護用具の購入である。



防護マスク

「町民体育祭」 廃止か継続か

教育委員会事務局長から当初予算について説明がありました。

問 昨年「町民体育祭」の代わりに「ファミリースポーツフェスティバル」が開催されたが、今後どうするのか。

答 フェスティバルの参加者には好評であったが、今後の「町民体育祭」については、四月からスタートする「スポーツクラブ」で検討する。



人工呼吸器



初期消火体験

防災シリーズ



地震から命を守る

県防災センターで研修

星谷地域防災団

勝浦町では昨年「自主防災組織」が全地域で結成され、県下初と新聞報道されました。

星谷区では平成八年四月に結成、組織化と同時に防災器具を整備し、各家庭に防災ヘルメット、避難袋などを配布しました。

活動としては避難場所の案内板の設置、避難訓練への参加などであつ



県防災センター(北島町)

たが、防災に対する基本的知識と災害時の初動対応力などをさらに高めるため、三月十五日県防災センターにおいて防災研修会を実施しました。当日は三十名が参加し、センター職員の「地震から命を守る・南海地震に備えよう」と講義を受け、体験コーナーでは防災ガイドダンス、地震の震度体感、初期消火、火災時の煙体験などを行い「その時、一瞬の行動がみんなを守る」ことを学びました。

町では四月五日に「自主防災組織連絡協議会」が設立されたので、今後、他の地域との連携を密にし、情報交換や積極的な防災活動に取り組んで行きたい。(団長・森内 賢)

交流活動紹介

20年度からスタートした提案公募型補助事業に、かせやまクラブの「花々の里よこせ整備事業」と、生名口マンの会による「水車を利用した水力発電」、井戸端塾の「夢桜植林事業」の3件が採択された。住民協働による活発な活動は、今後の町づくりに大きな役割を期待したい。



▲花々の里 よこせ



▲生名口マン水車

町の活性化 「オンリーワン勝浦」

高い潜在能力を
活かして (副町長)

国清 一 治議員



実現に向けて、住民の生の声を聞く場をもつべきである。

また、好評の「提案公募型事業」の予算が、昨年の実績を下回る百万円である。町の活性化事業として増額すべきでは。

答 副町長 勝浦町は三市に隣接した地理的優位性や勝浦川を中心とした豊かな自然環境、勝浦座の「人形浄瑠璃」や「今山農村舞台」など伝統文化に恵まれている。これらの高い潜在能力を活かした「勝浦こそ」と言える施策が必要である。

答 町長 新たな「総合振興計画」策定に向けて専門的知識も

問 「福を呼ぶ」と新年度予算二十九億四百万円に期待を寄せているが、こころ一番と言う「オンリーワン勝浦」をめざした施策はあるのか。
町の「総合振興計画」の策定委託料三百二十万円余りが予算化されているが、コンサル任せではなく「行政と住民の共働型社会」の

つコンサルに委託するが、住民の声を聞く場をもちたい。

「提案公募型事業」は、新年度も応募の状況をみて事業選定委員会の意見を聞き、必要であれば補正予算で対応する。

生き残りをかけた みかん園地再生事業

耕作放棄地を再生
(産業建設課長)

問 基幹産業である「勝浦みかん」は危機的状況にある。

「みかん園地再生事業」とはどのような事業なのか。

答 産業建設課長

国の緊急雇用対策として交付金を活用する事業で、耕作放棄地などを調査し復旧可能な農地であれば、耕作希望者に借りてもらおう事業である。



一体的な整備が望まれる人形文化交流館

道の駅と 人形文化交流館

まちづくり交付金で
整備(副町長)

問 人形文化交流館は公共性の高い施設として、道の駅と一体的に整備する計画を立てているが、老朽化が進み傷みも激しい。交流拠点施設としての整備や大規模修理を具体的にどう進めて行くのか。

答 副町長 人形文化交流館の改修計画については「まちづくり交付金」の対象となり、過疎債も利用できる。施設の所有者であるNP法人の声をよく聞き、道の駅との一体的な整備を進めたい。



折野副町長

勝浦中学校改築 推進体制の充実を

現体制で対応（教育長）

部 公一 議員



問 勝浦中学校の改築スケジュールは六月

に二次診断の評定を受けて、来年三月までに設計を完成させる予定になっているが、この短い期間内にプロジェクトチームを運営したり、設計業者を選定するなど業務が非常に多忙になる。専門知識を有する人材を配し推進体制を充実すべきでは。

答 教育長

現在の教育委員会の

体制で総力を結集して支障のないように取り組んで行く。

定額給付金

きめ細かい

対応を

問

四月下旬から給付金を支給する予定にな

っているが、時間外や休日でも窓口業務をするのか申請内容に間違いがあった時の対応は。

また、経済対策としてプレミアム商品券との連携が計画されていると聞くが。

答 総務税務課長

時間外や休日の窓口対応は予定していない。

間違った申請には電話ではなく文書で確認する。

答 産業建設課長

プレミアム商品券は二百万円分を四月に発行する予定である。

勝浦病院
経営改善の

取り組みは

問

新しく導入される医療機器の内容と、今後の経営健全化対策や職場環境の改善への取り組みは。

答 病院事務局長

マンモグラフィとX線透視装置、エコー診断装置を導入する。

今後は整形外科の充実や病床利用率の向上を図り、医師確保のため給与水準の引き上げや、研修会へ参加など計画をしている。



前田病院事務局長

檜淵地区
急傾斜地

崩壊対策は

問

横瀬の檜淵地区に県の土砂災害警戒区域に指定されている場所があり、通学路にもなっている。

答 産業建設課長

るので早急な対策が必要であるが、今後の取り組み予定は。

二十年度に概略測量が終わり申請中である。採択されると二十一年度に地質調査を実施し、二十二年から用地交渉に入る予定になっている。

■その他の質問

○提案公募型補助事業

○ふるさと納税



崩壊の危険がある檜淵地区

新年度の 農業政策は

専門営農指導員を配置(町長)

山野忠男議員



的に取り組むなど、活性化を図るには専門的な技術員が必要ではないか。

答 町長

新年度から貯蔵みかんの技術の研究・指導者として、専門営農技術指導員を配置し、行政、J A、生産者が一体となって活動出来る役割を担ってもらう。また、みかんの幼木を管理し、生産・販売までの仕組みづくりなど勝浦農業の振興策を図りたい。

後期高齢者医療制度 滞納者の保険証は 悪質者は返還を

(総務課長)

問

平成二十年四月から実施している後期高齢者医療制度の経過措置について、収入がゼロでも保険料を支払わなければならないのか。

答 産業建設課長

町の移住交流事業は、二
十年から坂本グリーンツ
ーリズム運営委員会に委託
し「ふれあいの里さかもと」
で情報提供をしている。
また、遊休農地や空き家
の実態は。

答 総務課長

また、年金が少なく天引きが出来ない人が滞納した場合、保険証は没収されるのか。

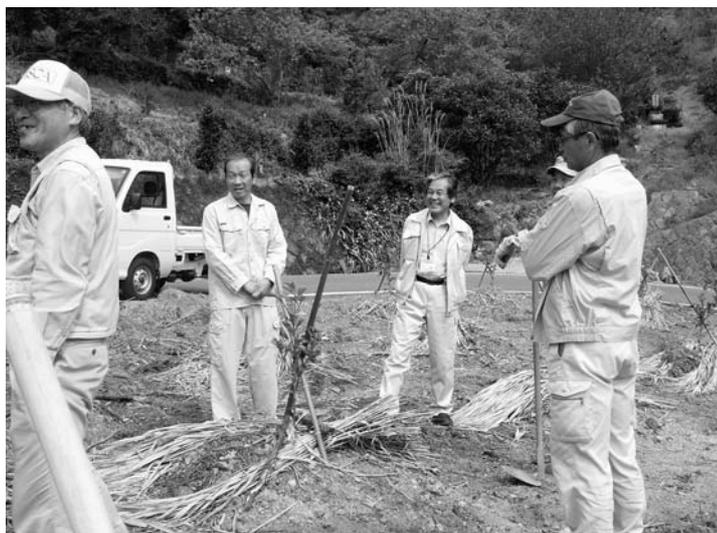
経過措置によって保険料の軽減額が拡大されている。収入がゼロの場合には所得割はかからない。
滞納者で悪質な場合は、保険証の返還や短期保険証の交付となる。

昨年のI・Uターンの相談は三件あった。
町内の耕作放棄地は、農業センサスで百二十haとなっている。
空き家の実態はつかめていないので今後、状況調査などを実施したい。

問

二十年産勝浦みかんの生産量は、前年対比八十%の裏年であったが、一昨年産の価格と比較しても安値で推移している。また、糖度・酸度ともに低く浮皮も多く出て長期貯蔵が難しかった。

このような現状から、みかんの生産技術の向上、消費者への宣伝・販売に積極



みかん園地を調査する吉野営農指導員

IターンのUターンの 受入体制は

ふれあいの里で

情報提供(産業建設課長)

問

近年、高齢化が進むなかで退職後は田



倉坪産業建設課長

新年度予算 積極予算か 健全化予算か

財政健全化路線を堅持(町長)

大西 一司 議員



より、数字にはつきりと行財政改革の効果が表れているが、景気低迷による交付金等の削減も予測される。財政健全化に向けた路線は堅持しながら、地域活性化のために必要な事業は積極的に支援して行きたい。

経済不況

本町への影響と対策は

問

経済不況は本町にどのような影響が出ているのか、農・商・工業等の売り上げや、セーフティーネットの利用状況と景気対策としての取り組みは、

答 町長

集中改革プランの推進に

答 産業建設課長

みかん販売量は前年の六割七割で単価も安く厳しい状況だ。

商工業の売り上げも前年比二割三割減でセーフティネットの認定申請件数も大幅に増えている。対策として商工会の商品券補助の増額や利子補給制度を新設。一方で国の補正予算による道路整備や緊急経済対策、雇用対策を実施して行きたい。



不況対策で増額された商品券

町民体育祭

やめるのか!

今年もスポーツフェスティバルを実施

(町長)

問

長年続けてきた町民体育祭は今後開催しないのか。団体競技を通じて一体感が生まれ、地域の連帯が図れる。町の活性化にもつながるので続けるべきだ。

答 町長

昨年初めてスポーツフェスティバルを開催したが、今年も「スポーツクラブ」が主体となり実施出来ればと思っている。

道の駅

二十一年度の

取り組みは

九千九百万円の予算を計上(副町長)

問

道の駅、二十一年度の県と町の取り組み計画は。

答 副町長

県が用地鑑定費、用地

購入費、測量費、工事費等として二十一年度予算の中で必要相当額を計上してくれる予定だ。町も用地費と工事費等に約九千九百万円計上している。

全体構想については今後検討委員会をワークショップ的なものにして詳細な計画を策定して行きたい。



折野副町長

その他の質問

- 中角通学路の改良見通しについて
- 小・中学校体力テストの結果について
- 中学校改築計画について

後期高齢者
医療制度

無保険にならないよう

広域連合で協議し対応

(総務税務課長)

森本 守議員



特別な事情かどうかはど
こが決めるのか。
判断は人道的立場に立っ
て対処すべきである。

答 総務税務課長

特別な事情かどうかは広
域連合会が決定する。
低所得者には広域連合会
と協議し、分納や減免の対
応を行きたい。

問 保険料を一年以上滞納すれば、特別な事情がない場合保険証の代わりに資格証明証が発行されることになっている。

消防団員の

安全対策は

問

消防団員のケガが続いているが安全指導はしているのか。

また、個人の所得により補償が違っていると聞かすがどうか。

答 総務税務課長

各分団で新人研修を実施し、基礎的教育訓練や基本的技術の習得を図り、安全で効果的な消防活動が出来るよう指導している。
補償については県の公務災害補償共済基金で対応している。

町民に夢や希望を語る

まちづくりを

道の駅を地域活性化の起爆剤に

(町長)

井出美智子議員

国保税の申請減免の条例化を

問 不況でますます国保税が大きな負担と

化の起爆剤になり、住民が夢と希望を語るようなまちづくりに取り組んで行く。

問

ごみ処理費削減にもなる「ダンボールコンポスト」による生ごみ処理を町民に提案したらどうか。

ダンボールコンポストで生ごみの減量化を

答 町長

広報や環境町民会議などで提案して行く。



伊丹総務税務課長



研修を受ける消防団員

その他の質問

- 地球温暖化対策
- 新型インフルエンザ
- 農業の活性化について



中田町長

問 沼江バイパスの着工予定と、町の周辺対策事業等の工事計画は。



森 健 議員

沼江バイパス着工予定は

四月から着工（産業建設課長）

答 産業建設課長

二月に用地関係者全員の契約が完了した。四月から着工予定だ。
二十一年度はバイパス関連の町単工事として水路改修工事を計画している。
バイパス完成には三年程度かかる予定だ。



三年後の完成をめざす
沼江バイパス

問

行財政改革による職員の削減が多過ぎる。



もつと職員を大事にして、自ら町民に夢や希望を語るまちづくりに取り組むべきだ。
答 町長 行財政改革により事業に取り組める財政状況になった。今後は職員研修を実施し人材育成に努める。
また、道の駅が地域活性化

なっている。こんな時こそ申請減免の制度を作り、払える国保税にするべきでは。
答 町長 今までもおり個別に対応して行く。

県道阿南勝浦線の 拡幅は

問 現在、沼江の町境付近の拡幅工事について進展はあるのか。

答 産業建設課長

関係者に用地保証鑑定、用地測量の承諾を得ている。今後、用地と補償物件の調査を行うなど改良に向かって進むものと思っている。

肺炎球菌 ワクチンに助成を

問 肺炎による死亡率は高い。ワクチン接種で予防が可能と言われている。予防接種の助成事業に取り組んでは。

答 福祉課長

今後の財政状況を含め、内容や副作用について精査しなければならぬと思っているが、今は公費の助成は考えていない。



岩佐福祉課長



生ごみ処理のダンボールコンポスト

循環型社会形成へ

新たな取り組みは

町民の集いを開催(町長)

松田貴志議員



答 住民課長

分別ステーション

ンは十八年度より十三地区に十六カ所設置している。今後も設置の推進と利用方法の説明会を開催し、リサイクル率を高めたい。

問

分別ステーションの運用状況と循環型社会形成に向けた新たな取り組みは。

また、立川地区にある不燃物処理場は三十年が経過し老朽化が進んでいる。県道より八キ口上流に位置し道路事情が悪く危険なことから、今後は移転、新設する必要があると思うが。



豊岡住民課長

答 町長

ごみの減量化やリサイクル

ル率の向上等に貢献している団体を表彰するなど、循環型社会形成に向けた町民の集いを二十一年度に計画している。

また、不燃物処理場の今後については、昨年より委託や新設など検討しているが、引き続き調査研究し結論を出したい。



老朽化している不燃物処理場(立川)

道の駅

子供が遊べる公園整備を

問

にぎわいを創出するためには、道の駅に子どもが遊べる公園が必要でないか。

答 副町長

町内には安全で安心して子供が遊ぶことのできる芝生広場のような公園が

少なく必要性を感じる。まちづくり交付金事業で人形文化交流館改修と合わせ公園整備ができないか研究して行く。

問

合併せず自立のまちづくりをめざしている福島県矢祭町では出産子育てを支援するために第三子に総額百万円、第四子に百五十万円、第五子に二百万円を支給している。そのほか多くの自治体や民間企業が実施している出産祝金を勝浦町でも支給してはどうか。

増子化に向けて 出産祝金を 支給しては

答 町長

子育て支援でもトップクラスであり、一時金より継続的な子育て支援が効果的で、祝金の支給は考えていない。

■その他の質問

○ 町長の政治姿勢について

行政改革

職員削減で業務に

支障はないか

見直しも含め検討(町長)

西浜勝己議員



問

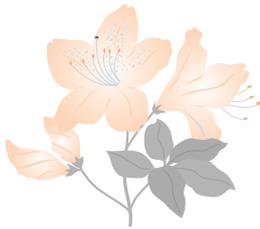
町長は「良い職員
の存在なくして良い
行政はあり得ない」と言う
が、行革の名のもとに削減
目標の十五％を大きく上回
り二十三％に達している。
また、退職者四人に対し
て一人しか補充していない。
今までに優秀な職員の早期
退職により空洞化が生じて
いる。どのように認識して

いるのか。

答 町長

行政経験豊
富な職員が中
途退職されると言う事は町
にとって大きな損失である。
厳しい財政状況の中で、平
成十六年から人件費の削減
に取り組んで来た。
その一方で課の統合によ
り各課長にも負担をかけて
いる。

二十一年度で集中改革プ
ランの期限を迎えるので、
見直しも含め検討したい。



多くの事業

対応は可能か

現有体制で取り組む
(産業建設課長)

問

「道の駅」、「沼江
バイパス」、「横瀬小
学校の耐震工事」、「勝浦中
学校の改築」など多くの事
業を抱えている。職務を執
行するだけの職員数がいな
い。手間不足でやっていけ
ないのではないか。

答 産業建設課長

産業建設課だけでなく各
課とも非常に人数も厳しい
が、現有体制で取り組んで
いかなければならないと思
っている。

問

勝浦中学校の改築
に向けて、どのよう
な構想を持っているのか。
また、運動場の確保は出

勝浦中学校 改築問題

プロジェクトチームを
立ち上げる(教育長)

答 教育長

中学校の
改築に当た

来るのか。

っては授業を休めない。特
に三年生は進路決定に非常
に重要な時期である。プロ
ジェクトチームを立ち上げ
検討することにより、校舎
の位置は決まってくる。

また、運動場の確保につ
いては、仮校舎が出来る
運動場の面積も縮小されて
くるので、勝浦高校や専門
学校にお願いに行きたいと
思っている。



改築計画が進む勝浦中学校

問

二千三十五年に町
の人口が三千七百人
を割るとの統計が出されて
いる。今でも高齢化率が三
十四％になっており、限界
集落についても今後、対応
していかなければならない
のでは。

答 町長

六十五歳以
上が五十％以
上になると、地域のコミュニ
ニティがなくなってくるの
で、立川地区であれば、森
林整備を通じて地域の活性
化、林業再生が図れるよう
考えて行きたい。

限界集落について の認識は



稲井教育長



K-Friends

会員数194人
(4月21日現在)

ケーフレンズ

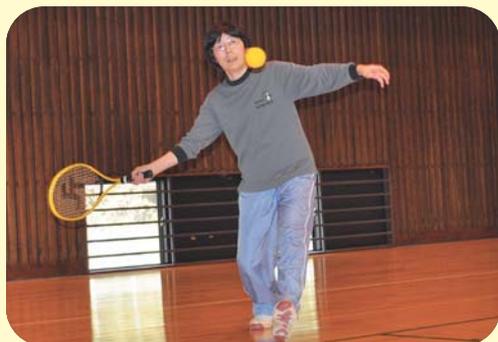
4月1日からスタートした勝浦町総合型地域スポーツクラブ「K-Friends」の各教室の紹介と、参加者や講師のインタビュー記事を今回からシリーズとして掲載します。私たち広報委員もこれを機に入会し、脱メタボをめざし取り組んでいきます!!

初回は毎週月、水曜日の午後2時から町民体育館で実施されている「スポンジテニス教室」を紹介します。指導助手をしているクラブマネージャーの溝上由美さんに話を聞きました。



溝上由美さん

柔らかいボールを使っているので負担が少なく、初めての方でも楽しめる指導を心掛けています。一緒に気持ちよく汗を流しませんか？



問い合わせ・申し込み先

K-Friends事務所(町民体育館、改善センター)
電話 0885-42-3671
FAX 0885-42-3300
E-mail kfriends@27.fan-site.net
<http://kfriends.fan-site.net/index.html>

スポンジテニス教室

スポンジを使ったやさしいテニスです。未経験の方でも楽しく、運動を始めるきっかけづくりに最適です。

参加者の声

初めは不安でしたが優しく分かりやすく教えてくれ、今では次の練習が待ち遠しいです。とても楽しく生きがいになっています。
日下智世子(73歳)

教室の雰囲気明るく楽しそうだったので参加してみました。メリハリの効いた指導で向上心が湧き、上手になりたいと思うようになりました。
西田直美(44歳)



「心機一転」オンラインワン勝浦の町づくりをめざし、まい進したい。
(一治)

早咲きの桜の便りが聞かれるころ三月定例会が開会し、新年度の施策・予算が提案された。
特に今回は、伝統的な行事の継続が廃止か。町の活性化に向け創設された事業など、住民の交流・コミュニティに関する事案が多かった。
緊迫したなかで時には激論も交わされた。「議会だより」の限られた紙面、その全ては書きつくせないが...

編集後記

